

平成 20 年度 関西エコオフィス大賞

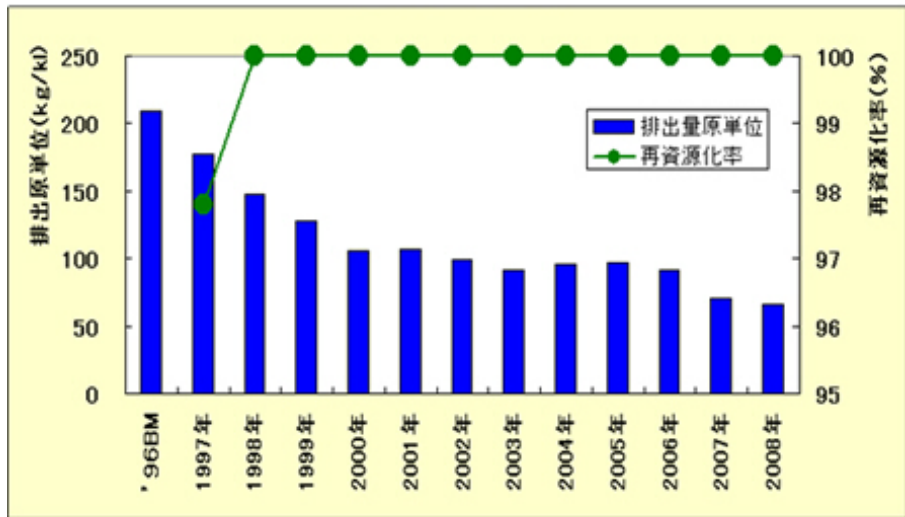
大賞（大企業部門）

宣言オフィス名	サントリー酒類株式会社 京都ビール工場〔京都府・長岡京市〕
業種	ビール、発泡酒等の製造
主な取組内容	廃棄物の再資源化 100%の継続とマテリアルリサイクルの取組

- 1) 廃棄物の 36 種類分別を全従業員および常駐協力会社に徹底することにより、再資源化の難しかった一般系廃棄物も含めて 1998 年から再資源化率 100%を維持・継続。
- 2) 工場から廃棄される全廃プラ類の約 90%をマテリアルリサイクル化し、また、これ以外に生産活動で使用する原料、作業用消耗品類の梱包材をリユース化（通い箱など）し廃棄物の減量化を推進
- 3) 従業員全員に対して、地球環境の大切さや生産活動が環境に与える影響など環境保全活動に関する自覚教育を実施。また、廃棄物再資源化率 100%の維持向上のため、分別方法に関する教育を実施
- 4) 西山涵養活動への参加や地域環境を考える交流会への参画、イベントへの出展などを通じて「地域との環境コミュニケーション」を積極的に推進

**廃棄物分別
運用基準
(36種類)の徹底**

紙類 3種 木くず 2種
瓶類 2種 缶類 2種
布類 アルミ箱 生ゴミ
吸い殻 など
※分別不能は「迷い箱」



再資源化率100%の継続と排出原単位の削減



西山涵養活動への参加



乙訓の環境を考える交流会への参加



地域清掃活動の実施

平成 20 年度 関西エコオフィス大賞

大賞（中小企業・団体部門）

宣言オフィス名	山金工業株式会社 森田工場〔福井県・福井市〕
業種	病院等間仕切り・什器備品の製造
主な取組内容	工場ぐるみの徹底した省エネ活動とVOCガス削減の取組

- 1) 保冷材入り首巻きタオルや携帯カイロを全従業員に支給し、工場内での適正冷暖房に努め、電気使用量を月間約 6,000kWh 削減
- 2) 変圧器を全てトッランナー型に入れ替えて集約を進め（9 台 4 台）、電気使用量を年間 179,580kWh 削減。また、フォークリフト（2 台）をガソリン式からバッテリー式に入れ替えて省エネ化を推進
- 3) 塗装設備の更新により、光化学スモッグの原因となる揮発性有機化合物（VOCガス）の発生を大幅に削減（H12 年度比 74%）するとともに、重油使用量の削減（年間 37,000 ㍓）やLPガス使用量の削減（年間 60,000 ㍓）を実現。また、塗料回収装置による資源の有効活用を推進
- 4) 自動車通勤から電車、バス、自転車、徒歩通勤に切り替えるよう積極的にエコ通勤を奨励するとともに、できない場合でもアイドリングストップを奨励



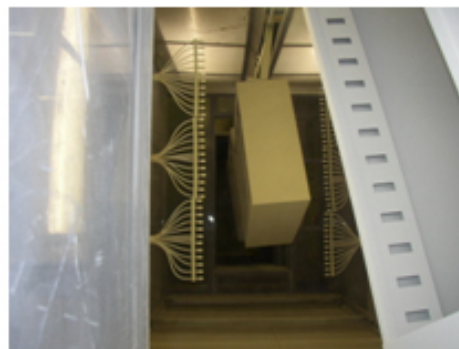
高効率のトッランナー変圧器による
損失電力の大幅削減



圧縮エネルギー流量計算システムによる
エア流量の調整による使用電力の削減



塗料回収装置による使用塗料の削減



粉体塗装設備の導入により有機溶剤塗装機を廃止しVOCガスの削減・燃料の削減



保冷材入り首巻きタオルや携帯カイロを支給し
工場内の電気使用量を削減

平成 20 年度 関西エコオフィス大賞

奨励賞（大企業部門）

宣言オフィス名	エプソンイメージデバイス株式会社 本社〔鳥取県・鳥取市〕
業種	アモルファスシリコン TFT 液晶等の製造・販売
主な取組内容	廃棄物の徹底分別による再資源化・有価物化の取組
<p>1) 廃棄物を 62 種類分別にまで徹底・拡大することにより、有価物率は 71% に達し、6 年間で廃棄物排出量の削減 (2,167 トン → 839 トン) と処分費用の削減 (6,150 万円 → 2,870 万円) を実現</p> <p>2) 工場での夏季における空調方式の変更や工業用水の冷熱利用、高効率変圧器の導入等により、温室効果ガスの排出を削減</p> <p>3) 各職場から選出した環境活動推進委員を中心に、各職場の環境パトロール（毎月実施）や勉強会を行い、分別状況の確認と情報共有を通して事業所全体で改善を推進</p> <p>4) 従業員や外部業者へアイドリングストップ活動を奨励するとともに、近隣小学校の環境教育や高校生のインターンシップ、海外からの視察を受け入れ</p>	

奨励賞（中小企業・団体部門）

宣言オフィス名	サンイン技術コンサルタント株式会社〔鳥取県・米子市〕
業種	建設コンサルタント等
主な取組内容	多様な省エネルギー活動と地域との連携の取組
<p>1) 太陽光や風力による発電設備の導入や屋上緑化を進めるとともに、省エネ型照明設備の導入、社内のコピー用紙や古封筒の再利用、昼休憩時の消灯、クール・ウォームビスの実施など、全社的に省資源、省エネルギーの取組を推進</p> <p>2) 社用車および社員個人車について報告・管理・点検を行う「駐車時エンジン停止推進管理マニュアル」により、アイドリングストップ運動を積極的に推進</p> <p>3) 市内の旅館やスーパー、自治会と協力して月約 3,400 ㍓の廃食油を回収し、障がい者就労事業所で精製・BDF 化して販売し、地域の旅館や幼稚園等の送迎バスに利用</p> <p>4) 全社員が参加して市内清掃を行うグランドワーク運動を毎月 1 回実施</p>	

平成 20 年度 関西エコオフィス大賞

奨励賞（中小企業・団体部門）

宣言オフィス名	株式会社くらこん 枚方工場〔大阪府・枚方市〕
業種	昆布・煮豆等の加工・販売
主な取組内容	工夫を凝らした水の節約、再利用と節電の取組
<p>1) 工場からのリサイクル水、廃水処理の汚泥を利用して、窓際にゴーヤを栽培して緑のカーテンを実施し、エアコンによる電力使用量を大幅に削減。また雨水等もトイレに利用</p> <p>2) パソコンの待機電力カットやセンサーライトの設置、リサイクル電池の積極的な利用、工場屋上への農業用遮光ネット設置など様々な節電につながる活動を行い、1袋当たり電気使用量を28%削減</p> <p>3) 明確な分別による金属ゴミの有価物処理、乾燥ゴミの飼料化を行うとともに、マイ箸の推進やエコバックの使用を社員に奨励するなど、廃棄物の減量化を推進</p> <p>4) 地域美化活動としてアドプト・ロードや河川清掃等への参加、植樹活動などへ積極的に参画</p>	

奨励賞（中小企業・団体部門）

宣言オフィス名	株式会社GE〔大阪府・堺市〕
業種	産業廃棄物の収集運搬・中間処理
主な取組内容	地道な節電、節水活動と環境コミュニケーションの取組
<p>1) 焼却炉から発生する廃棄物エネルギーの有効利用（蒸気タービン発電）により、1時間当たり265kWhの電力供給を行い、場内動力用として使用</p> <p>2) 従業員風呂のフロートスイッチの設置や水洗トイレでの貯水レベルの低減、工業用水タンクの水量チェックを頻繁に行うことにより、節水活動を推進</p> <p>3) エコアクション21委員会を毎月開催し、職場での活動内容や問題点を議論し、全従業員へ円滑に水平展開を図る。また、エコドライブなどの勉強会も開催</p> <p>4) 場内で花壇やプランターで草花を栽培するとともに、生ゴミを堆肥化して栽培に利用。また、地域の美化清掃活動への参加や環境活動レポートを社員手作りで作成するなど、環境コミュニケーションを実践</p>	